

はじめに

実践報告集「とねやま」第7号（令和6年度）の刊行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本年度もここに、刀根山支援学校実践報告集「とねやま」を発刊できますことを大変うれしく思います。本校は、大阪府立の病弱支援学校として、本校・訪問教育部、大阪大学医学部附属病院分教室、大阪精神医療センター分教室、関西医科大学附属病院分教室、関西医科大学総合医療センター分教室の5部署で構成されております。昭和42年度の刀根山分校としての開設以来、創立57年目を迎える学校です。これまで、地域の病弱教育のセンター的役割を果たすべく、教育実践に取り組んでまいりました。その中でも、教育研究は、日頃より大きな使命の一つと捉え、その実践を広く府下の皆様に発信できればと考えているところでございます。

本校は、部署が設置されている病院によって病気や在籍期間が異なる子どもたちが在籍しています。一人ひとりにある背景や実態を把握し、今すべきことを選択し、教員間で共有して教育活動を進めることが本校に必要な専門性であるととらえています。

「今、目の前にいる子どもたち」のために積み重ねた日々の取り組みが詰まった実践報告集となりました。皆様に一读いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

最後になりましたが、今年度も、病院をはじめ関係諸機関の皆さま、保護者の皆さま、地域校の皆さまには多大なご協力とご支援をいただきましたことに、お礼申し上げます。これからも、刀根山支援学校と病弱教育に温かいご理解とご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年3月
大阪府立刀根山支援学校 校長 永田 美穂子